

住人十色

第 91 回

茶道教室を続けて60年 人とのつながりが元気の秘訣

宮瀬 キク子さん(90) 〓内子6〓



(社)茶道裏千家淡交会大洲支部に所属している宮瀬キク子さん。約60年にわたって内子町で茶道教室を開いています。

宮瀬さんが教室で大切にしていることは、茶を飲むことを楽しむだけでなく、もてなしの心を重んじる茶道の精神です。「茶室の掛け軸にしても生け花にしても、相手の好みや季節に合わせてもてなすことが大事。奥が深く、日々新しい発見がある」と話します。探求心を持ち続ける宮瀬さんは「新しいことを覚えるのはとても楽しい」とほほえみました。

宮瀬さんは保育園などから依頼されて、園児たちに茶道を教えることもあるそうです。茶碗に描かれている花の咲く時期などを質問しながら、季節の移ろいも楽しめる茶道の魅力を伝えています。「園児たちは茶を立てるのが面白いみたいで、喜んでくれる。茶道は人を思いやることができるようになるので、魅力を知って大きくなっても続けてほしい」と語りました。

「教室に来てくれる人や園児たちと話をするのが元気の秘訣」と話す宮瀬さん。「茶道を通していろいろな人とのつながりができたことに感謝。いつまでできるかわからないけれど、体が動く限りは続けたい」と目を輝かせていました。

編集 幸記

▽私も八日市護国の町並みに憧れて、この町に来たことを思い出します。広報係の前は町並みの皆さんと一緒に仕事をしていたので、自然と力が入っていました。町並みや住民の皆さんの素晴らしい姿が伝われば、うれしいです(裕)

▽中学生の職場体験を広報係で受け入れました。教える立場になるのは初めてで、とても難しかったです。教えながら気付くこともあり、いい経験になりました。将来、二人と一緒に働けたらうれしいです(健)

町内無線放送が聞き取れなかった場合はお電話ください。

通話料無料の
フリーダイヤル
☎0120(44)2130

